



株式会社 天満屋ストア 証券コード:9846

# 第54期中間報告書

2022年3月1日 ▶ 2022年8月31日



シネマタウン岡南・天満屋ハピータウン岡南店(岡山市南区)



天満屋ハピーズ円山店(岡山市中区)



天満屋ハピーズ高野店(岡山県津山市)



天満屋ハピータウン児島店(岡山県倉敷市)

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜りありがとうございます。厚くお礼申しあげます。

さて、当社第54期上半期(2022年3月1日から2022年8月31日まで)が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申しあげます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染再拡大や緊迫するウクライナ情勢、エネルギー価格の高騰、急激な円安による物価高などの影響により企業収益を取り巻く環境は厳しさを増し、依然として先行き不透明な状況が続いております。個人消費につきましても、人流回復による持ち直しの動きが見られるものの、原材料価格高騰に伴う物価高の影響を受け、生活防衛意識が一層強まり、将来不安からくる節約志向が根強く、厳しい状況が続いてまいりました。

このような環境下において当社グループは、常態化した新たな生活様式への変化対応を最重点に取り組むとともに危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

小売事業につきましても、食料品は昨年の内食需要の反動を受ける一方、衣料品・生活用品については人流回復により需要が高まりを見せるものの、来店客数はコロナ禍以前の状況に回復しておらず、依然として厳しい状況で推移しております。こうしたなか、新たな生活様式に対応した短時間や非接触でのお買物ニーズにあわせ、スマートレジシートの導入やキャッシュレス決済の推進、ネット販売の拡大、また、清潔な店舗環境の整備を継続し感染防止策を徹底するとともに、スーパーハッピープライス商品数増によるEDLP(低価格戦略)の強化やシンプルでわかりやすい曜日販促およびハッピーカードの新販促に取り組んでまいりました。

また、2022年3月に総社溝口店(岡山県総社市)を全面改装し、高梁店(岡山県高梁市)にホームファニシングストアの「ニトリ」を導入するほか、4月に岡南店(岡山市南区)に生活雑貨専門店「ロフト」、7月にマタニティ&ベビー・キッズ専門店「アカチャンホンポ」を導入するなど既存店舗の活性化に努めてまいりました。さらに、4月には「備える暮らし」をテーマに地域住民と社会資源やサービスをつなぐアプリ「まちケア commons」を提供する株式会社まちケア(岡山県倉敷市)に対して出資いたしました。

小売周辺事業につきましても、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。多様化する消費者ニーズへの対応や原材料・原油価格の上昇の影響を受け厳しい経営環境が続いております。また、7月には駅弁などの製造販売、高速道路のサービスエリアを運営する「株式会社三好野本店」を子会社化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は281億700万円(前年同四半期は336億4000万円)となりました。また、経常利益は12億2300万円(前年同期比1.5%増)、親会社株主



取締役社長 野口 重明

に帰属する四半期純利益は7億5700万円(前年同期比2.3%増)となりました。「収益認識に関する会計基準」等の適用により、当第2四半期連結累計期間の営業収益は59億8300万円減少しております。なお、中間配当金につきましては、3円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルスの感染再拡大と収束を繰り返しながら景気の持ち直しに期待されるものの、円安進行や原材料高騰による物価高が消費マインドに影響し、節約志向や消費減退による景況感の悪化など一層厳しい状況が続くものと予想されます。

こうしたなか、当社グループといたしましては、引き続きコロナ禍における消費者の価値観や行動様式の変化対応を進め、来店されるお客様や従業員の感染防止策の徹底、スーパーハッピープライスによるEDLP(低価格戦略)の強化やシンプルでわかりやすい曜日販促およびハッピーカードの新販促、魅力ある大型テナントの導入などに注力するとともに、粗利率率の改善や販管費の一層の節約合理化による収益力の向上に努めてまいります。また、子会社化した株式会社三好野本店のブランド力や運営ノウハウの活用によるセールスシナジーやコストシナジーを図り、惣菜等調理食品を製造する小売周辺事業の子会社との連携による大きな効果を発揮できるよう取り組みを進めてまいります。さらに、プラスチック使用量の削減や太陽光パネルの設置など環境に配慮した取り組み、地域社会との協働による地域の活性化、当社が認定を受ける「くるみん」や「健康経営優良法人」に基づく働きやすい職場環境づくりを進めるなど持続可能社会の実現を目指すとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスのさらなる強化にも努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。 2022年11月

# 連結業績ハイライト

当期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、「事業セグメントの売上高」について参考として従前の計上方法による売上高等を記載しております。また、「営業収益(売上高および営業収入)」につきましては、従前の計上方法による営業収益の第2四半期連結累計期間は34,154百万円、通期(予想)は68,000百万円となります。

## ■ 事業セグメントの売上高

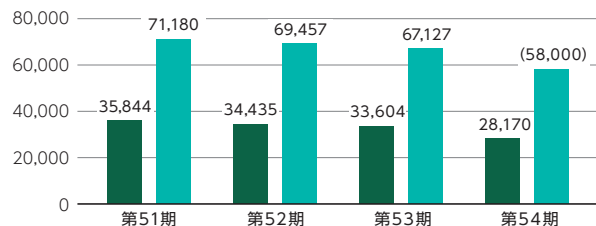
(単位:百万円)

事業セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間(参考)			
	2021年3月1日～2021年8月31日		2022年3月1日～2022年8月31日		2022年3月1日～2022年8月31日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比	
		%		%		%		%
小売事業								
食料品	23,564	73.5	21,388	80.5	22,948	70.5		97.4
生活用品	3,040	9.5	521	2.0	3,336	10.3		109.7
衣料品	2,770	8.6	1,390	5.2	2,918	9.0		105.3
その他	38	0.1	871	3.3	871	2.7		—
小計	29,414	91.7	24,170	91.0	30,075	92.5		102.2
小売周辺事業	2,651	8.3	2,379	9.0	2,452	7.5		92.5
合計	32,065	100.0	26,550	100.0	32,527	100.0		101.4

■ 第2四半期連結累計期間 ■ 通期 ( )内は予想

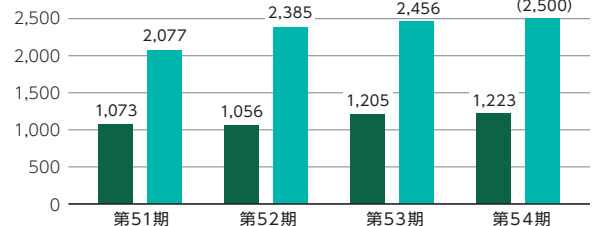
### 営業収益(売上高および営業収入)

(単位:百万円)



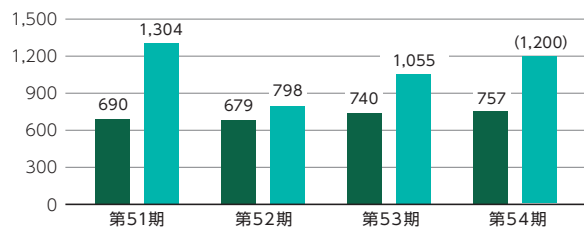
### 経常利益

(単位:百万円)



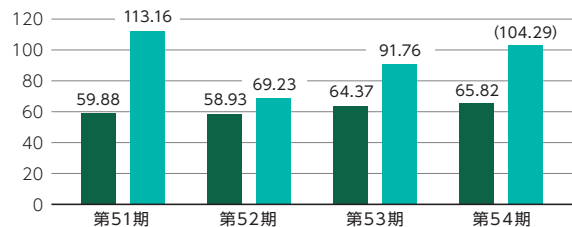
### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



### 1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)



# 四半期連結財務諸表(要約)

## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度 2022年2月28日現在	当第2四半期 連結会計期間 2022年8月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,394,068	6,413,930
固定資産	37,861,519	38,960,078
有形固定資産	27,496,799	28,212,416
無形固定資産	2,621,246	3,158,678
投資その他の資産	7,743,473	7,588,984
<b>資産合計</b>	<b>43,255,587</b>	<b>45,374,008</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	11,887,524	13,029,550
固定負債	8,709,409	8,928,420
<b>負債合計</b>	<b>20,596,934</b>	<b>21,957,970</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	22,723,246	23,460,349
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,750	5,347,750
利益剰余金	13,739,231	14,462,307
自己株式	△ 61,236	△ 47,208
その他の包括利益累計額	△ 96,073	△ 77,077
その他有価証券評価差額金	42,995	44,769
退職給付に係る調整累計額	△ 139,068	△ 121,847
非支配株主持分	31,480	32,765
<b>純資産合計</b>	<b>22,658,653</b>	<b>23,416,038</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>43,255,587</b>	<b>45,374,008</b>

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2021年3月1日から 2021年8月31日まで	当第2四半期 連結累計期間 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
売上高	32,065,614	26,550,813
売上原価	23,850,714	18,917,312
<b>売上総利益</b>	<b>8,214,899</b>	<b>7,633,500</b>
営業収入	1,538,927	1,620,129
<b>営業総利益</b>	<b>9,753,827</b>	<b>9,253,630</b>
販売費及び一般管理費	8,707,535	8,054,588
<b>営業利益</b>	<b>1,046,292</b>	<b>1,199,041</b>
営業外収益	201,312	59,138
営業外費用	42,396	34,894
<b>経常利益</b>	<b>1,205,208</b>	<b>1,223,285</b>
特別利益	59,942	-
特別損失	169,764	99,296
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,095,386</b>	<b>1,123,989</b>
法人税等	351,546	364,308
<b>四半期純利益</b>	<b>743,840</b>	<b>759,680</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,499	2,484
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>740,340</b>	<b>757,195</b>

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 当期より「収益認識に関する会計基準」等を適用した数値を記載しております。

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2021年3月1日から 2021年8月31日まで	当第2四半期 連結累計期間 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,098,045	3,276,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 794,595	△ 445,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,806,997	△ 2,397,446
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 503,548	433,051
現金及び現金同等物の期首残高	1,041,253	553,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	537,704	986,999

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 会社概要

2022年8月31日現在

商号	株式会社天満屋ストア
設立	1969年4月1日
資本金	3,697,500,000円
事業内容	食料品、雑貨、衣料品の小売業 (チェーンストア)
本店・本部	岡山市北区岡町13番16号 電話 (086) 232-7265
店舗数	50店
従業員数	1,501名(うちパートタイマー等1,092名)

## ■ 役員

2022年8月31日現在

代表取締役会長	木住 勝 美
代表取締役社長	野 口 重 明
専務取締役	小坂 章 壽
取締役	國府 慎一郎
取締役	武本 俊 夫
取締役	中村 哲 士
取締役	平井 由美子
取締役	山本 愛 子
常勤監査役	羽賀 之 雄
監査役	楠田 教 夫
監査役	井手 敬一朗

取締役武本俊夫、中村哲士、平井由美子、山本愛子の4氏は、社外取締役であります。

監査役楠田教夫、井手敬一朗の両氏は、社外監査役であります。

取締役武本俊夫、山本愛子の両氏は、東京証券取引所の定めに基づき、同取引所に届け出た独立役員であります。

## ■ トピックス

### 「天満屋ハピータウン岡南店」改装オープン



天満屋ハピータウン岡南店(岡山市南区)を改装し、2022年4月28日に生活雑貨専門店「ロフト」、7月1日にマタニティ&ベビー・キッズ専門店「アカチャンホンポ」など新規テナントを導入いたしました。

今後も第三期開業を控えた隣接するアクロスプラザ岡南やシネマタウン岡南を含めた魅力ある一体の商業施設としてお客様の毎日の生活をさらに豊かにできるよう取り組んでまいります。

### 府中天満屋「備える暮らしのワークショップ」開催



府中天満屋(広島県府中市)において、2022年8月21日に当社が出資する「株式会社まちケア」主催の親子で防災マップづくりやローリングストックについて学ぶ「備える暮らしのワークショップ」が開催されました。今後も地域と連携し、防災など地域の課題解決や活性化に努めてまいります。

# 株式の状況等

## 株式の状況

2022年8月31日現在

発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式の総数	11,550,000 株
株主数	5,225 名

## 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
丸田産業株式会社	2,766,000 株	23.95 %
株式会社イトーヨーカ堂	2,310,000	20.00
株式会社天満屋	1,474,400	12.77
天満屋ストア共栄会	887,400	7.68
株式会社中国銀行	376,800	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託04)	369,200	3.20
天満屋ストア共和国	320,000	2.77
三井住友信託銀行株式会社	184,000	1.59
みずほ信託銀行株式会社	179,000	1.55
三菱食品株式会社	168,100	1.46

## 中間配当に関するお知らせ

2022年10月5日開催の当社取締役会において決議いたしました第54期(2022年3月1日から2023年2月28日まで)中間配当の支払いについて、次のとおりお知らせいたします。

### 決議の内容

2022年8月31日の株主名簿に記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり中間配当を支払う。

1. 中間配当 1株につき3円
2. 効力発生日 2022年11月8日(火)  
(支払開始日)

以上

## 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	5月
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日 そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
インターネットホームページURL	<a href="https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/</a>
よくあるご質問(FAQ)	<a href="https://faq-agency.smbt.jp/?site_domain=personal">https://faq-agency.smbt.jp/?site_domain=personal</a>

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告とし、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載いたします。  
<http://www.tenmaya-store.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場